

要件定義計画成果物サンプル&ガイド 成果物一覧

第1.10版

2018年08月29日



この作品は [クリエイティブ・コモンズ 表示 - 継承 4.0 国際 ライセンス](https://creativecommons.org/licenses/by-sa/4.0/) の下に提供されています。
要件定義フレームワーク©2018 TIS INC. クリエイティブ・コモンズ・ライセンス(表示-継承 4.0 国際)

要件定義計画成果物一覧

分類	成果物ID	成果物名	成果物種別	サンプル&ガイド 有無	成果物の目的	備考
要件定義の計画	DC-101	要件定義計画書	成果物	○	プロジェクトスコープ定義、成果物定義、進め方などの要件定義計画を立案することで、お客さまから計画の合意・承認を得て、要件定義の円滑な推進を可能とする。	要件定義工程では、お客さまにも主要な役割を担って頂く必要があるため、事前に計画を明確にし、計画の合意を得ておくことが重要になる。
	DC-102	成果物標準定義	成果物	—	成果物サンプル、成果物ガイドライン、文書標準などの成果物標準を定義することで、お客さまとの成果物イメージの認識齟齬の低減と成果物品質レベルを確保する。	ステークホルダーが理解できる要件定義成果物を定義しておくことが重要になる。
	DC-103	合意記録	内部資料	—	ステークホルダーが要件定義計画書に合意したという記録を残す。	
	DC-104	承認記録	内部資料	—	お客さまのプロジェクトオーナーが要件定義計画書を承認したという記録を残す。	
ステークホルダーの定義	DC-201	ステークホルダー定義	内部資料 (計画検討用)	○	ステークホルダーオニオン図、ステークホルダーマトリクスなどを利用して要求の源泉となるステークホルダーを漏れなく定義することで、要求の抽出漏れのリスクを低減する。	